

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第 51 回）
議事要旨（案）

1. 日時

令和 4 年 1 月 25 日(火)～2 月 1 日(火)

2. 場所

メールにて開催

3. 出席者（敬称略）

(1) 構成員

多氣主査、山中主査代理、長谷山委員、増田委員、秋山専門委員、石上専門委員、石山専門委員、大西専門委員、熊田専門委員、清水専門委員、曾根専門委員、平専門委員、田島専門委員、田中専門委員、塚原専門委員、徳田専門委員、平田専門委員、堀専門委員、松永専門委員、山口専門委員、山崎専門委員、山下専門委員、和氣専門委員

(2) 関係者

雨宮氏（VCCI 協会）、尾崎氏（富士電機）、久保田氏（TELEC）、島先氏（VCCI 協会）
松本氏（NICT）

(3) 事務局（総務省）

古川電波監視官他

4. 議事

11 月に開催された CISPR 会議の結果について、資料 51-1、資料 51-2 に基づき検討が行われ、さらに電子機器等からの妨害波の測定方法等に係る技術的条件に関する電波利用環境委員会報告（案）並びに当該報告（案）に係る意見募集に対して提出された意見及び委員会の考え方（案）について、資料 51-3、資料 51-4、資料 51-5-1、資料 51-5-2、資料 51-5-3 及び資料 51-5-4 に基づき、検討が行われた。質疑応答の概要は以下のとおり。

田中専門委員：資料 51-1 及び 51-2 について、今回の委員会報告は CISPR 会議の結果を報告することが目的であることから、対処方針の説明が主であるような印象を与える記述は修正することが望ましい。また資料 51-5-1 の P.2 検討経過の「エ 電波利用環境委員会」において、「(電波利用環境委員会において作成)」となっているが記載の必要があるのではないか。

事務局：資料 51-1 において、P.2 のタイトルを「総会審議結果」へ修正すると共に、P.5、

6、7にある「審議状況」という項目を「これまでの審議状況」に修正する。また、資料 51-2 において、P. 6 の「4 各小委員会における審議状況と対処方針」も「4 各小委員会における審議状況と対処方針並びに審議結果」へ修正する。加えて、資料 51-5-1 の P. 2 検討経過の「エ 電波利用環境委員会」へ、現在までの審議状況を記載する。

久保田氏：資料 51-1 の P. 5 審議結果の 2 点目について、「反対意見が出された。」と記載しているが、誤解を与えないよう「反対意見が出され、将来発行する Amendment1 に含めるべき事項の決定は、FDIS の結果を見て行うとされた。その影響で第 2 フラグメントとして準備していた CD の発行は先送りされる。」へ修正をいただければと思う。

事務局：ご指摘のとおり、資料の修正を行う。

尾崎氏：資料 51-1 の P. 4 審議結果の 2 点目について、CISPR B の議論では、無償でのダウンロードには懐疑的な意見があり、DC 文書の回付が決定したという背景から、「IEC のホームページからダウンロードできる形へ移行する方針が合意され、今後 DC 文書が回付されることとなった。」へ修正をいただければと思う。また、資料 51-3-2 から 51-3-4 の 3 章 用語、定義及び略号について、略称（例：AMN）が記されているが、略称のもとになる英文が表記されていないため、由来が分からない。読み手のことを考え、略名のもととなる英文を表記いただければと思う。加えて、資料 51-5-3 の 5.3 章において、“L”の小文字の“l”が使用されているが、“l”との区別がつかないため、フォントの変更をいただければと思う。

事務局：ご提案のとおり、資料の修正を行う。

徳田専門委員：資料 51-2 の P. 8 （ウ） 審議結果の「A CISPR 16-1-4」について、「RVC の改訂版を回付し、」とあるが、どういった意味か。既に回付されている CIS/A/1357/RVC が改訂されるということなのか。

石上専門委員：ご指摘の箇所について、誤解が無いよう、「A/1357/RVC における一部の NC からのコメントについては、observation に「WG1 によるレビュー予定」となっており、WG1 内で意見を 3 週間収集する（締切 1/28）こととなっている。」へ修正をいただければと思う。

事務局：ご指摘のとおり、資料の修正を行う。

本委員会での検討の結果、構成員の指摘を踏まえ修正を行った上で、その他の軽微な修正については主査に一任され、情報通信技術分科会へ報告されることとなった。

（以 上）